

8/21

縄文文化を学び伝える 洞爺湖温泉小教員が貝塚研修

洞 爺湖温泉小学校（柿崎秀顕校長）の教員が、世界文化遺産に登録された入江・高砂貝塚などで研修を行いました。登録を機にあらためて入江・高砂地区の縄文文化を学び、授業に活かそうと初めて実施しました。

教員は、貝塚館を視察して縄文人の暮らしぶりや狩猟について学びました。町教育委員会の学芸員による講義も行われ、授業に反映させようと縄文文化に理解を深めていました。



貝塚館を視察する教員

8/8

洞爺湖温泉の活況を願って 湯前薬師如来祈願法要

薬 師の日に当たる8月8日に合わせて「湯前薬師如来祈願法要」（湯前薬師如来奉賛会、朝倉英隆会長）が、足湯ポケットパークで行われました。

関係者約10人が参列。新型コロナウイルスの影響が長期化する中、参列者は1日も早い収束を願って祈りを捧げました。

祈願法要は例年だと「薬師の日湯かたまつり」として行われていますが、コロナ禍のため昨年に続いて規模を縮小し、法要のみ実施しました。



薬師如来に手を合わせる参列者

8/23

ウトウラノ完成記念 竣工儀礼「チセノミ」開催

洞 爺湖町アイヌ協会（藤野満裕会長）が、アイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」の完成を記念して竣工儀礼「チセノミ」を行いました。

チセノミは、アイヌの家屋が竣工した時に執り行われる儀礼。今回は約20人が出席しました。全員で炉を囲んで酒が入った器を回し、ヌササン（祭壇）に向かって祈りを捧げました。ムックリ（口琴）の演奏や「弓の舞」も行われ、ウトウラノの完成を祝いました。



チセノミを執り行う関係者

8/22

若手農家の新鮮野菜がずらり ACとうやが野菜直売会

洞 爺湖町などの若手農家でつくる「ACとうや」（吉田拓人会長）の野菜直売会が、入江・高砂貝塚館駐車場で行われました。

会場にはトウモロコシやジャガイモ、ニンジン、キャベツなど多彩な野菜が並びました。いずれも鮮度抜群とあって、訪れた人たちが次々に手に取っていました。直売会は、地産の野菜のPRを兼ねて開いており、出品した農家は地元の魅力が広まればと願っていました。



地産の新鮮野菜を求める人でにぎわった直売会

9/7

手作りの1枚で校舎をきれいに ななかまどの会がとうや小に雑巾寄贈

洞 爺湖町ボランティアサークル「ななかまどの会」（坂井千枝会長）が、とうや小学校（山下文人校長）に雑巾50枚を寄贈しました。同会は、温泉街の清掃やイベントの運営補助などの奉仕活動を行っており、雑巾の寄贈は町内の高校、小・中学校、福祉施設などのために20年近く続けています。

坂井会長が「柔らかくて使いやすい手縫いの雑巾なのでみんなが使ってください」と山下校長に手渡しました。



雑巾を寄附する会員

8/25

高校生が観光ガイドを体験 虻田高が遊覧船模擬ガイド

虻 田高校（廣川雅之校長）の3年生が、洞爺湖の遊覧船「エスポアール」で模擬ガイドを行いました。「地域ビジネス」の授業の一環で、3年生が乗客役の2年生をガイドしました。

3年生は、手製のパネルを使って湖中に生息する魚や周辺の名産品、昭和新山の歴史を説明。洞爺湖の成り立ちを分かりやすく伝えていました。

3年生は10月以降、今回の経験をもとに一般客のガイドを務める予定です。



模擬ガイドを行う3年生

9/13

お得に車を借りて観光へ トヨタのカーシェアがスタート

ト ヨタレンタリース札幌が実施するカーシェアリングサービス「トヨタシェア」が、洞爺湖温泉で始まりました。洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス駐車場にコンパクト車1台を配備。専用アプリで申込みから運転、支払いまで可能で、料金は15分200円（6時間まで燃料代無料）となります。

道内の温泉街では初めての試みで、同社は「観光客から地元住民まで広く使われてほしいです」と話していました。



カーシェアの利用を呼び掛ける関係者

9/10

財田米の収穫をお手伝い とうや小が稲刈り体験

と うや小学校（山下文人校長）の5年生が、財田地区で稲刈りを体験しました。

児童たちは、農家の塩田満さんと一緒に田園でコンバインに乗り、収穫を手伝いました。刈り取った稲穂が勢いよく機械に取り込まれていく様子に驚きの声を上げていました。

作業を終えた児童たちは、稲作の大変さなどについて質問。地元の人々に理解を深めながら、新米が食べられる日を楽しみにしていました。



塩田さんから稲作について学ぶ児童